

アプリケーション定義ステートメント共有シート ver 0.3

意思決定者とともにこのシートを作成し、チーム全体で共有すること。
開発の各フェイズでは常にこのシートを参照し、追加変更する内容がステートメントと乖離していないことを確認する。

ステートメント

アプリの全てを説明できるシンプルな一文。ここから外れた機能は盛り込まない。

ターゲット

アプリを使うユーザー層。コアターゲットの大半が使う機能だけを盛り込む。

ユースケース

どのようなシチュエーションで使われるか。アプリの機能とライフサイクルは、ユースケースに適したものにす。

コア機能

ステートメント、ターゲット、ユースケースから導かれる必須機能を5個まで。

諦めること

ステートメントやユースケースに反するため諦めるものごと。

使用方法

1. 最終先方の意思決定者と一緒に * インターフェースガイドラインの23ページに準拠して、ステートメントを作成。
2. ステートメント内容をこのシートを埋める。
3. チーム全体に配布する。
4. 毎回のミーティング開始時、ステートメントをリーダーが読み上げる。
5. 機能追加、変更があるときは、常にシートからズれていないか議論する。
6. 迷ったら常にシートからズれていないか確認する。

* Apple Human Interface Guideline 2012, 日本語版

href="<https://developer.apple.com/jp/devcenter/ios/library/documentation/MobileHIG.pdf>